

帆樯成林

—はんしょうせいりん—

新潟市歴史博物館
博物館ニュース
vol.28

「帆樯成林」とは？

帆柱が林のように多く立つ様子を表した語。
人が多く出入りする活気ある「みなと」を
イメージしました。

CONTENTS

特集1 みなとびあファンクラブの歩み P.2~3

特集2 企画展 報じられなかった写真
昭和30年代——写真家・小林新一の820カット P.4

常設展示室から 肥前焼の骨壺 P.5

おすすめの一冊 新旧地形図で見る新潟県の百年
明治~平成の変貌 P.5

みなとびあ 研究notes 「牡丹山」と注記された増輪片 P.6

館長日記 貸間の広さ P.7

収蔵資料紹介 蟹の轆 P.7

博物館を支えるモノ・もの 虫ピン P.8



常設展示の展示替えの様子

新潟市歴史博物館
博物館ニュース

帆樯成林

Vol.28

【たいけんのひろばプログラム】 楽しみながら、遊びながら、昔のことを学びます。

日時	タイトル	内容	申し込み・参加費・対象
5月3日(金) 14:00~15:30	こいのぼりづくり	傘袋をつかって、かわいいいのぼりをつくりましょう。風車もついています。	不要・50円 材料がなくなり次第終了
5月5日(日) 14:00~15:00	愛のかぶとづくり	大きな紙を使って、直江兼続の「愛のかぶと」を折ってみましょう。かぶることもできますよ。	不要・無料 材料がなくなり次第終了
5月6日(月) 14:00~15:00	伝承折り紙	花や虫など、昔から親しまれてきた形を折って遊びます。	不要・無料
5月12日(日) 10:00~12:00	親子で自然体験	春のみなとびあ敷地をたんけんしながら自然にふれあい楽しくあそびます。	5/10必着・無料 未就学児とその保護者20組
5月25日(土) 14:00~15:30	みなとびあめん部糸を紡ぐ	わたから糸をとり布を織る。この一連の手作業を博物館資料を使って、参加者とともに復元する試みです。	お問い合わせください
6月1日(土)・2日(日) 14:00~15:30	ピンホールカメラ	1日目は針穴カメラを自分でつくります。2日目は自分が作ったカメラを持って、みなとびあ敷地内を撮影、現像します。	5/28必着・200円 小学生以上10名
6月9日(日) 14:00~15:00	【むかしのあそび】あやとり・たけなご・けん玉	あやとり、たけなご、けん玉、コマなどむかしながらの遊びにチャレンジ!	不要・無料
6月15日(土)・16日(日) 14:00~15:30	トンボ玉づくり	ガスバーナーでガラス棒を溶かして、トンボ玉とよばれるガラスピースをつくります。	6/11必着・100円 小学生以上10名(各日)
6月29日(土)・30日(日) 14:00~15:30	布をおってみよう	空き箱を使って織り器をつくり、裂き織りのコースターを作ります。	不要・無料 材料がなくなり次第終了
7月6日(土)・7日(日) 14:00~15:30	ワラ紙づくり・七夕飾り	ワラから紙をつくり、七夕の短冊にして、願い事を書き入れます。他にもいろんな七夕飾りをつくって、七夕の笹飾りをしましょう。	不要・無料 材料がなくなり次第終了
7月14日(日) 14:00~15:00	【むかしのあそび】紙ヒコーキ・紙トンボ	良く飛ぶ紙ヒコーキや紙トンボをつくって、外で飛ばそう! さらに良く飛ぶ工夫をして飛ばすとうなるかな?	不要・無料 材料がなくなり次第終了

お申込みは、電子メール・往復はがきで当館まで。締切は必着です。プログラムは予定となっておりますので、詳細は当館までお問い合わせください。

現在開催中企画展

「報じられなかった写真 昭和30年代——写真家・小林新一の820カット」

昨年他界した小林新一(1917-2012)は、立て続けに災害を経験した昭和30年代の新潟の姿を日本にむけて発信しました。彼の未公開ネガフィルムを検証し、グラフィカ記事として「使われなかった」カットを紹介します。

【会期】2013年4月27日(土)~6月9日(日)

【休館日】5/13(月)・20(月)・27(月) 6/3(月)

観覧料	一般	500円(400円)
高校生・大学生	300円(240円)	
小学生・中学生	200円(160円)	

()は団体料金(20人以上)
※小・中学生は土日祝日無料
※企画展示観覧券で常設展示も御覧いただけます

展示解説会

日時：毎週土曜日 午後2時から
会場：1階企画展示室
事前申し込み不要
(当日の観覧券が必要)
ゲスト 6月8日(土)
元テレビディレクター：大澤建一さん

レクチャー①

写真に学び写真を楽しむ
(新潟県写真家協会共催事業)
日時：6月2日(日) 午後1時30分~3時
講師：内山 晟(新潟県写真家協会副会長)
会場：2階セミナー室
事前申し込み・参加費は不要
定員：先着80名

レクチャー②

デジタル一眼レフカメラで作品作りを楽しもう!!
(株式会社新潟フジカラー共催事業)
日時：6月9日(日) 午後1時30分~3時
講師：椋沢善孝(写真家・フォトアドバイザー)
会場：2階セミナー室
事前申し込み・参加費は不要 定員：先着80名
カメラ等の持参は不要

博物館講座

当館学芸員が調査・研究をすすめているテーマについて、毎月第4日曜日に
お話しします。

時間：13:30~15:00 会場：本館2階セミナー室
申込み：不要。当日受付、定員50人程度
資料代：100円(資料のない回は無料)

第1回目の博物館講座は、5月26日(日)に開催いたします。

次回企画展

「新潟の漆器」

新潟における漆器の歴史と生産の両面から紹介し、
生活の道具としての漆器の歴史と文化について考えます。

【会期】2013年7月20日(土)~9月1日(日)

【休館日】

7/22(月)・29(月)
8/5(月)・19(月)・26(月)
※8/12(月)は開館

観覧料	一般	600円(480円)
高校生・大学生	400円(320円)	
小学生・中学生	200円(160円)	

()は団体料金
※小・中学生は土日祝日無料
※企画展示観覧券で常設展示も御覧いただけます

みなとびあからのお知らせ みなとびあは燻蒸期間のため、6月17日(月)~24日(月)まで休館します

博物館を支えるモノ・もの 虫ピン

壁に掲示物を留めるのに、普通はダルマピンや画びょうを使います。虫ピンは細すぎる上に、ハンマーで打ち込む必要があって不便です。しかし、博物館の展示には、虫ピンは欠かせません。ピン打ちは、博物館学芸員の基本技能といっても過言ではありません。虫の標本を留める...という本来の使い方ではなく、壁に展示パネルをピン留めしたり、テグスを床に固定するのに使ったり、白布を縫い止めたりと大活躍です。
うっかり床に落とすと容易に見つからないほど小さくて目立たない虫ピンは、それゆえに展示を支える裏方の筆頭格なのです。



編集後記

「帆樯成林」第28号はいかがでしたか。今号の特集ではみなとびあファンクラブの活動について紹介いたしました。様々な活動を通して、より多くのみなさまにみなとびあファンとなって頂ければと思います。さて、さわやかな季節となり出かけやすくなって参りました。当館では企画展はもちろんのこと、博物館講座やたいけんプログラムなども行われます。ぜひ足を運んでください。皆さまのご来館をお待ちしております。(早川)

■お問い合わせ・申込みは博物館まで・・・
新潟市歴史博物館 みなとびあ

住所：〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
TEL:025-225-6111 fax:025-225-6130
E-MAIL:museum@nchm.jp

休館日：毎週月曜日、祝日の翌日 開館時間：9:30~18:00



■帆樯成林「はんしょうせいりん」第28号
■編集・発行／新潟市歴史博物館 〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
■印刷／株式会社博進堂
■発行日 平成25年5月10日